

保護者の皆様

令和6年10月4日

川崎市立有馬中学校
校長 加賀 勉

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（金）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

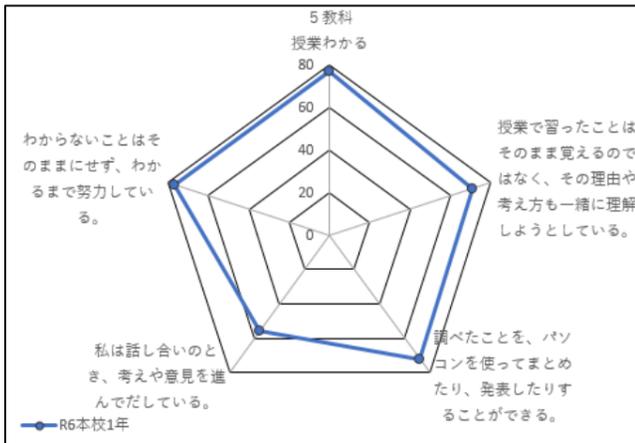
学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）

「未来に生き、未来を創造し、未来に活躍する人を育成する」

- 豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人
- 自主性に富み、責任感あふれる人
- 心身共に健康で、調和のとれる人

- 確かな学力の育成（GIGA スクール構想の推進、個別最適な学び）
- 豊かな心の育成（共生・共育プログラムの活用の充実）
- 健やかな心身の育成（生徒主体の特別活動の推進）
- 地域とともにある学校づくりの推進（小学校との連携充実）

令和6年度 川崎市学習状況調査 1年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	国語 書くこと
R6本校1年	57	70	58
R6全体1年	54	69	46

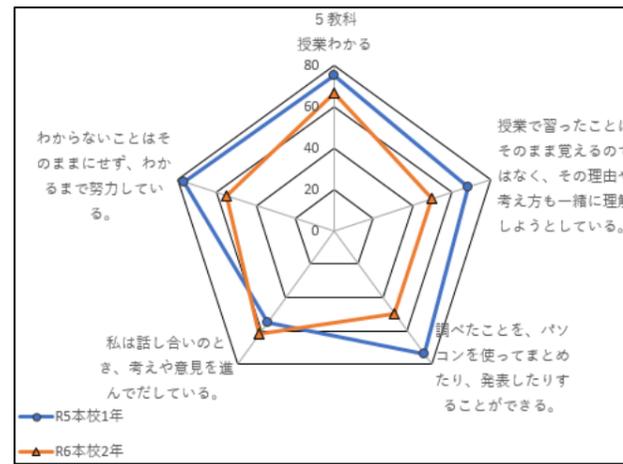
・「5教科 わかる」は77ポイントでした。毎時間の学習のねらいを明確にし、話し合い活動や教え合いなどの協働的な学びを通して、学習に対する意欲を高められるように授業推進を行います。

・「思考・判断・表現」は教科により差があります。学校教育目標「豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人」を踏まえ、学習の中で得た知識を活用することを大切にしていきます。課題に対して自分の考えを持つこと、それを発信できる課題設定を行うことで豊かな思考力を養っていきます。

・「国語の書くこと」では、GIGA 端末を用いた作文指導を通じて、生徒が言語の習得と活用について多くの学びを得られるように努めます。また、自分の考えを的確に伝え、状況や場面に応じた適切な語句を用いる力を養うことを目指します。

・「わからないことは…」は77ポイントでした。分からないことをそのままにしないで、分かるまで努力する姿勢を育成するために、協働的な学びを通して、充実感や達成感を得られるような授業になるように学習形態を工夫します。

令和6年度 川崎市学習状況調査 2年生



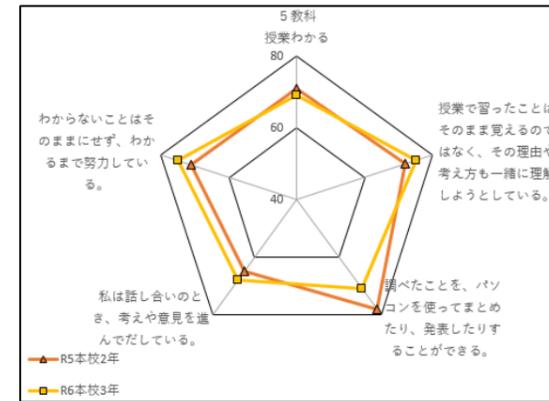
	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	国語 書くこと
R6本校2年	50	65	51
R6全体2年	46	60	45

・「5教科 わかる」は1年次より学習内容が難しくなったこともあり、9ポイント下がりました。生徒が単なる情報の受け手に留まらず、知識を深く理解し、それを実生活や将来の活動に応用できるよう、「わかる授業」を実践することを心掛けます。知識を活用して新たな課題に挑戦する活動を多く取り入れ、思考のプロセスを大切に授業づくりを目指します。

・「思考・判断・表現」は全体の数値を上回りました。授業内での話し合い、教え合い活動など他者と関わりながら自分の考えを表現できる環境を今後も継続していき、「豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人」の育成を目指します。

・「私は話し合いのとき…」は73ポイントでした。日々の授業でGIGA 端末を有効活用し、他者参照で個人の意見を共有したり、まとめて発表する機会を設けたりすることで、確かな学力の定着を目指し、主体的・対話的で深い学びにつなげていきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 3年生



	5教科 思考・判断・表現	5教科 知識・技能	国語 書くこと
R6本校3年	59	62	67
R6全体3年	52	55	61

・「5教科 わかる」は2年次より2ポイント下がりました。これまでの取組を継続しつつ、「できた・わかった」を充実させていくために、明確な目標設定と段階的な学習を大切にしていきます。反復練習やフィードバックを通じて理解を深め、成功体験を積み重ねていく授業を目指します。

・「思考・判断・表現」は見通しを持って課題を解決する姿勢が、着実に身につけています。学校教育目標の「豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人」を踏まえ、既習事項を土台にした深い思考を促す授業で知識の定着だけでなく、生徒が自らの考えを展開し、応用する力を養います。

・「私は話し合いのとき…」については、ペア学習やグループ学習を通じて考えや意見を出し合うことで、視野を広げる場を設定してきました。全国調査「自分と違う意見について…」は全国を上回っています。異なる意見や視点に触れることで、新たな発見や理解が得られ、知識が深まります。また、自分とは異なる考え方について思考を巡らせることで、自分自身の意見を見直すきっかけにもなります。対話や協力を通じて他者と共に成長する喜びを感じられるような活動を重視していきます。

全国学力・学習状況調査 3年生

